

THINK the まちなか FUTURE NEWS

DAY2 必要な機能と配置を考えよう！

2024年12月8日(日)13:30~16:10 @ビューポートくれ大ホール 参加者:13名

呉市まちなか公共空間デザインワークショップ DAY2を開催！

呉市では、蔵本通りや堺川沿いの中央公園一帯のまちなか公共空間を多様な人が出会い、交流することができる「人中心のウォークラブルな空間」として再構築を図るため、令和6年9月に「呉まちなか公共空間デザイン計画」を策定しました。この計画で掲げる取組をまちなか公共空間にどう落とし込んでいくか、必要な機能やその配置など未来の空間の姿について、市民をはじめとしたみなさんと一緒に考えていくために、デザインワークショップを開催することとしました。DAY2では、DAY1で皆さんからいただいたアイデアを元に、必要な機能（施設や設備など）やその配置などについて意見交換を行いました。

■当日のプログラム

	開会
13:30 ~14:00	【ガイダンス】 社会実験を終えて DAY1の振り返り
14:00 ~15:45	【グループワーク】 必要な機能と配置を考えよう
15:45 ~16:05	各グループからの発表 ワークショップコーディネーターからの講評
16:05 ~16:10	今後の予定、閉会



当日の様子をレポート

まちなか公共空間デザインワークショップ DAY2には、高校生や大学生、日常的に公園を利用する居住者を始めとして、13名の方にお集まりいただきました。

グループワークでは三つの班に分かれ、まちなか公共空間に必要な機能とその配置、また、公園空間を分断する道路や堺川通りのあり方などの空間の再編について意見交換を行いました。今回から参加される方も積極的に議論に参加し、活気ある意見交換が行われました。まちなか公共空間に必要な機能としては、「椅子・ベンチ」や「カフェ」などの提案が、また、空間の再編について様々な提案がありました。



DAY2のとりまとめ(主な意見)

TEAM YELLOW

- 図書館周辺を子どもゾーンとして大型遊具やカフェを整備、6ブロックはアーバンスポーツゾーンとする。
- 8ブロックは商店街と連携した飲食スペースなどのんびりゾーンとする。
- 川沿いで飲食など川を取り込んだデザイン
- 道路から公園を見通せる空間に再編
- 弥生橋の歩行者空間化



TEAM GREEN

- 親子が気軽に遊べるパークアイテム貸し出し
- 8ブロックや5ブロックにキッチンカーの出店、呉の文化を拡張(昼:キッチンカー, 夜:屋台)
- 統一されたデザインのサイン
- 弥生橋や楓橋の道路の歩行者空間化
- 川沿いや楓橋など音楽やライトアップなどによる演出や映画鑑賞等ができる空間



TEAM RED

- 堺川左岸に桜を植樹し、歩きたくなる連続的な空間づくり。あわせて、ベンチを設置
- 家族向けのレストラン(8ブロック)や落ち着いたカフェ(5ブロック), 対象年齢を分けて遊具配置(7・8ブロック)
- 三つの橋は時間規制等によって歩行者空間を実現
- 夏の暑さなどに対応する屋根を配置
- イベント(マルシェ・ビールフェスタ等)の定期開催

